

2023年12月期 第2四半期 決算説明資料



株式会社 ヴィンクス
2023年 8月 9日 (水)

証券コード : 3784

2023年12月期 第2四半期 決算説明資料

■ 決算概要

■ 主なトピックス

■ 【ご参考】B / S および C / F 等

2023年上期の前年比は、 売上高 5.5%増、営業利益 12.4%増

単位：百万円（百万円未満切捨て）

国内小売業におけるDXのニーズの高まりと、既存顧客への更なる深耕が奏功したこと等により増収増益となりました。

	実績	計画比	計画差	前年比	前年差
売上高	17,071	102.3%	391	105.5%	883
営業利益	1,771	109.0%	146	112.4%	195
経常利益	1,742	103.7%	62	106.8%	111
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,127	102.5%	27	105.6%	59

利益体質の改善が順調に図れていることから、2022年度より配当政策を見直しております。
2023年度については、配当性向35.0%、年間1円増配し、44円を計画しております。
2023年度中間配当は、当初の予想どおり、22円とすることといたしました。

	年間配当金			配当金総額合計 (百万円)	配当性向（連結） (%)
	第2四半期末 (円)	期末 (円)	合計 (円)		
2020年度	6.5	7.5	14.0	235	19.3
2021年度	7.0	13.0	20.0	336	20.8
2022年度	17.5	25.5	43.0	723	35.3
2023年度	22.0				
2023年度 (予想)		22.0	44.0	-	35.0

売上高・営業利益 進捗状況【2023年度】



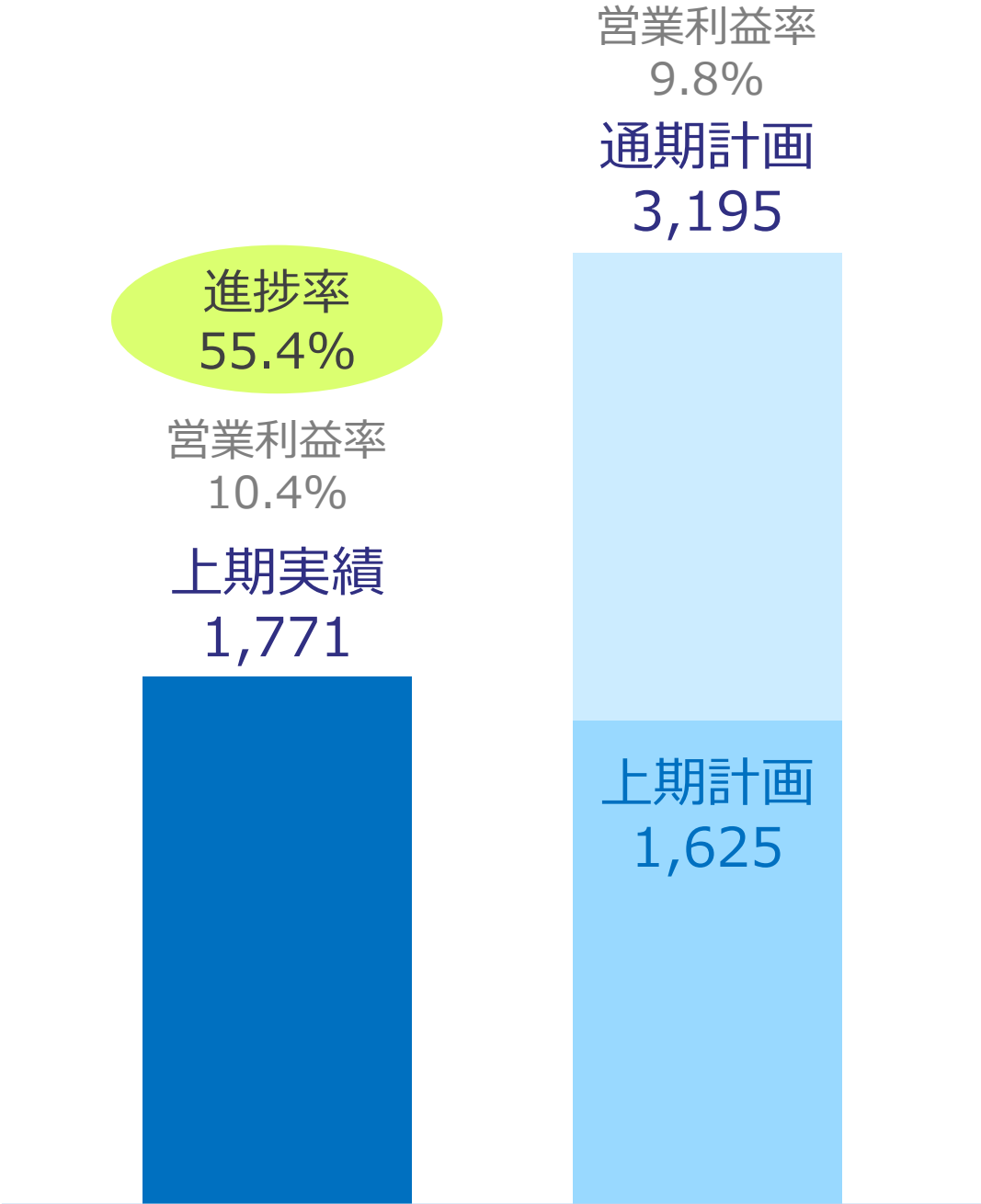
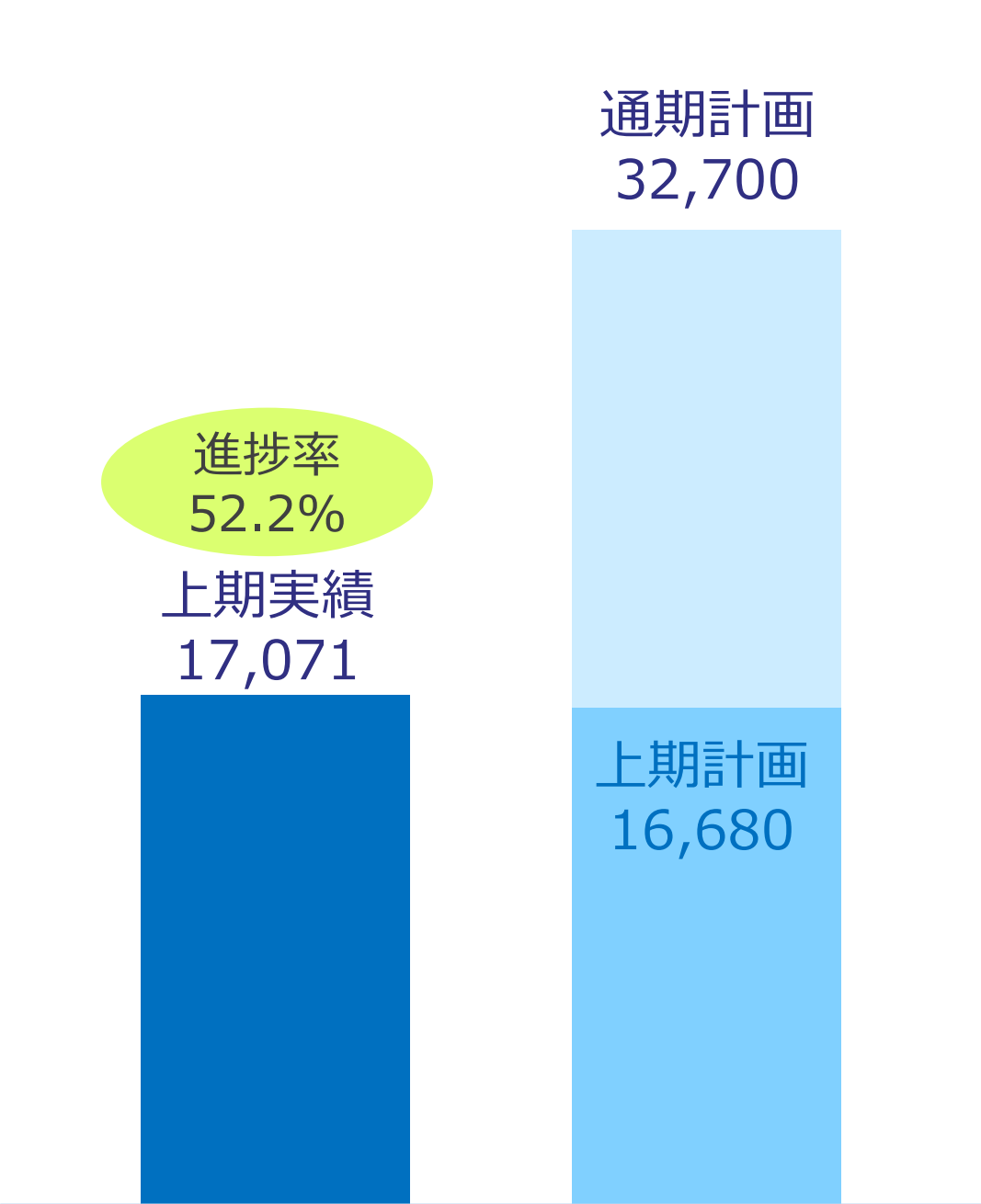
2023年度上期は、DXニーズの高まりにより、基幹システム（MDware）や自動発注システム、POSシステム（ANY-CUBE）など、主要ビジネスであるソリューション・プロダクト分野によって、利益を順調に確保しています。

今後も引き続きDXニーズの高まりにより、順調に推移することを想定しております。

単位：百万円（百万円未満切捨て）

売上高

営業利益・営業利益率

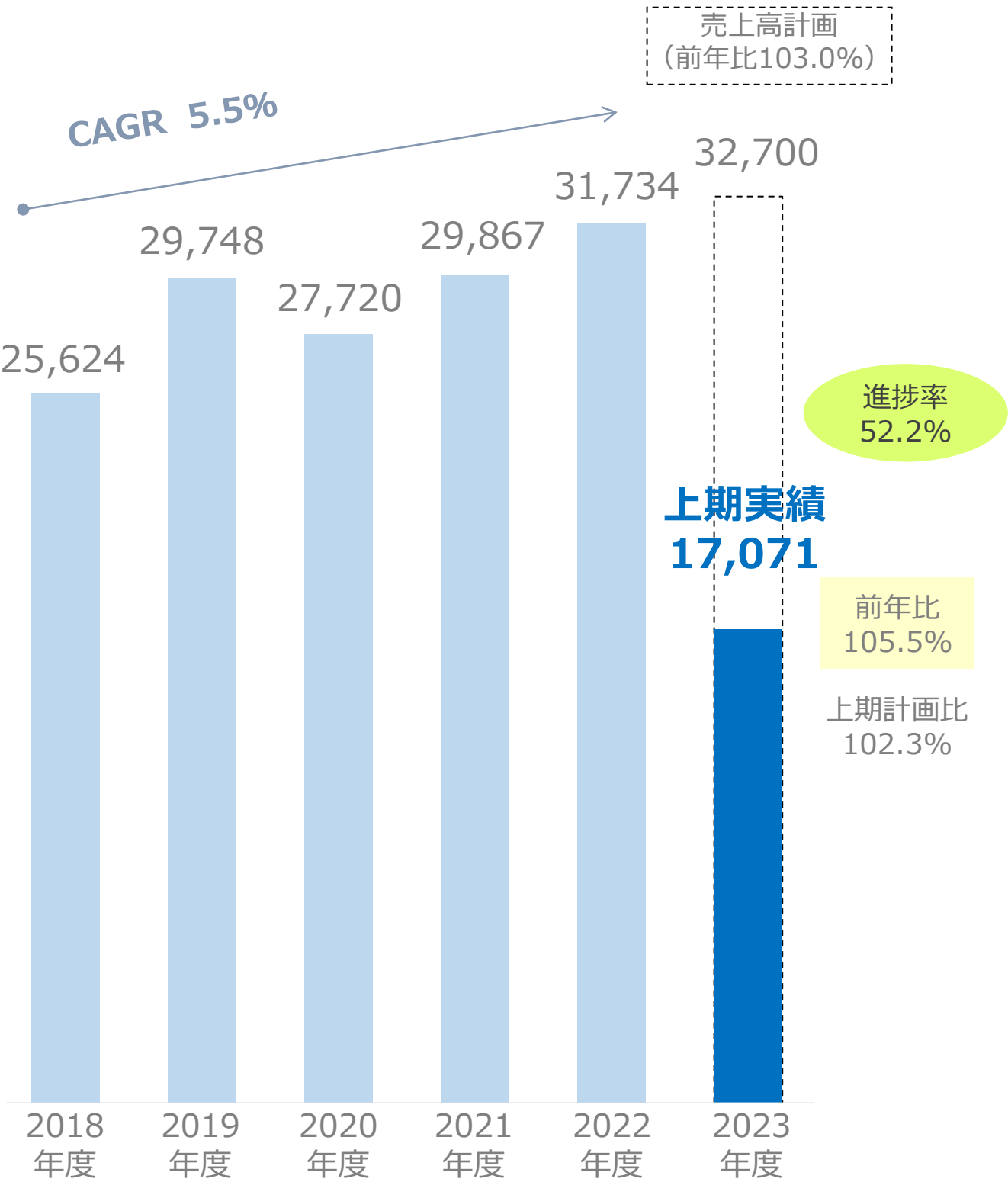


売上高・営業利益の推移

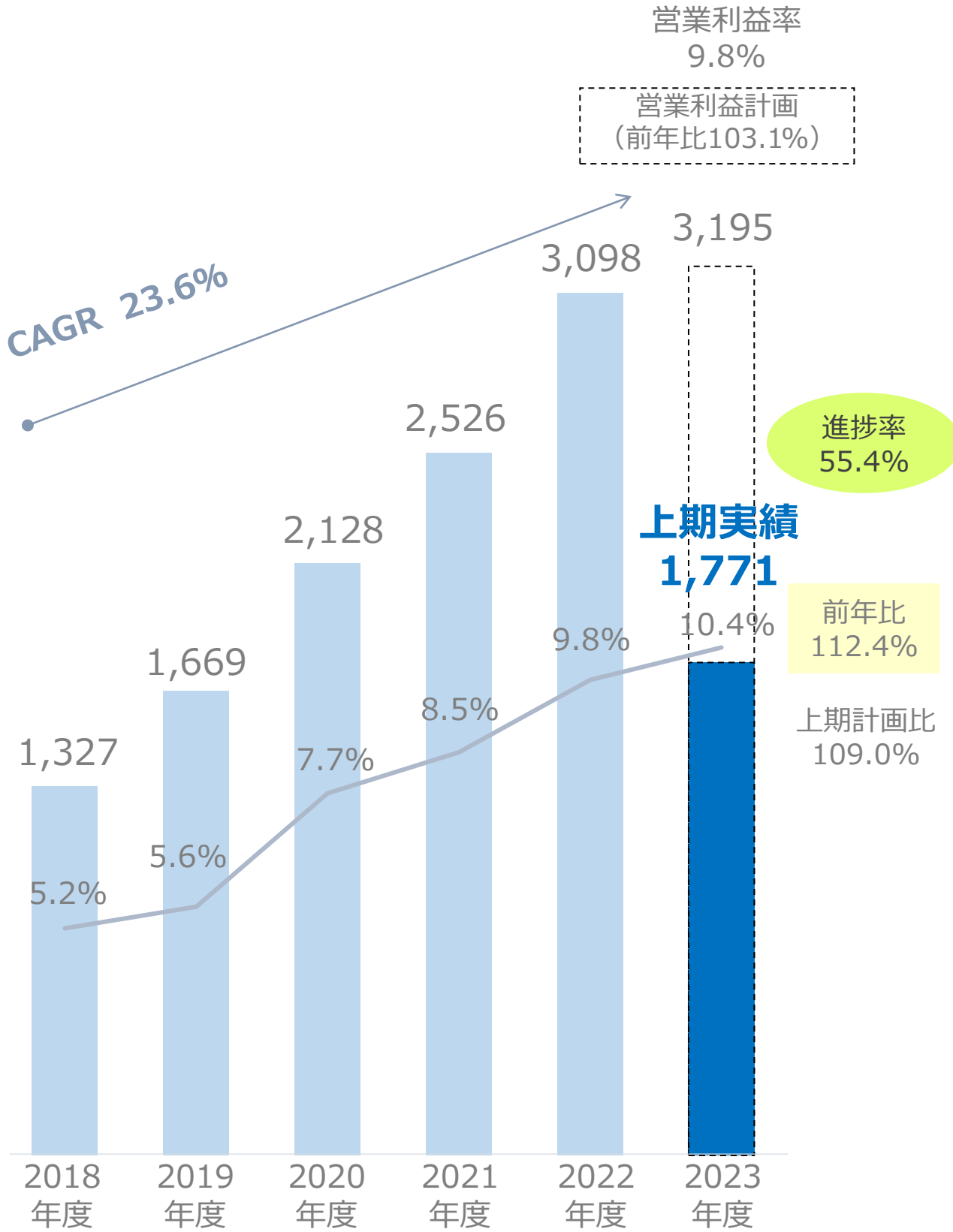


単位：百万円、%

売上高



営業利益・営業利益率



※2018年実績値は、決算期変更のため12カ月に換算した数値です。

2023年12月期 第2四半期 決算説明資料

■ 決算概要

■ 主なトピックス

■ 【ご参考】B / S および C / F 等

営業活動における主なトピックス

ニューリテール戦略	ホームセンター	○ 基幹システム 全国に展開するホームセンター様より、基幹システムの統合案件を受注いたしました。
	ドラッグストア	○ 決済システム 全国に展開するドラッグストアグループ様より、自社QRコード決済システムの開発案件等を受注いたしました。
	生協	○ 基幹システム 生協グループ様より、MDware基幹システム構築案件を受注いたしました。
	ドラッグストア	○ POSシステム 全国に展開する調剤・ドラッグストア様より、POSシステムにおける電子マネー案件を受注いたしました。
	スーパー等	○ RPA * スーパー等のお客様より、RPAの導入案件を受注いたしました。
特定顧客化戦略	スーパー	○ 物流システム、決済システム 関東地方を中心として展開するスーパー様より、プロセスセンター構築案件およびQRコード決済案件を受注いたしました。
	流通・サービス	○ DX対応 総合小売業グループ様より、MDware基幹システムのDXデータ基盤整備案件を受注いたしました。
グローバル市場戦略	流通・サービス	○ 運用業務 総合小売業グループの中国現地法人様より、ビジネスポータルサービス基盤の運用業務を受注いたしました。
	洋菓子等の販売	○ 自動発注システム 洋菓子・パンの製造販売会社様より、海外現地法人向け自動発注システムを受注いたしました。

* RPA (Robotic Process Automation)

これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化することをいいます。

主なトピックス①

VINX

アジアに広がる当社のソリューション・プロダクト

北京・上海等

テナント管理 ショッピングモール様

日本

ANY-CUBE[®]
POS for the Next Value

・ドラッグストア様
・スーパーマーケット様

MDware

・ホームセンター様
・生協グループ様

ベトナム

MDware
Global版

ドラッグストア様

ポイント管理
システム

スーパーマーケット様

フィリピン

BIツール
刷新支援

コンビニエンス
ストア様

MDware

✓ 導入実績：77社
✓ 導入予定：7社

ANY-CUBE[®]
POS for the Next Value

✓ 導入実績・予定
累計163,000台

VINX
中国(杭州)

VINX
タイ

VINX
ベトナム

VINX
マレーシア

インドネシア

ポイント管理
システム

スーパーマーケット様

香港

POS
システム

ドラッグストア様

MDware
Global版

MDware
自動発注クラウド

ベーカリー様

タイ

オペレーション
自動化支援

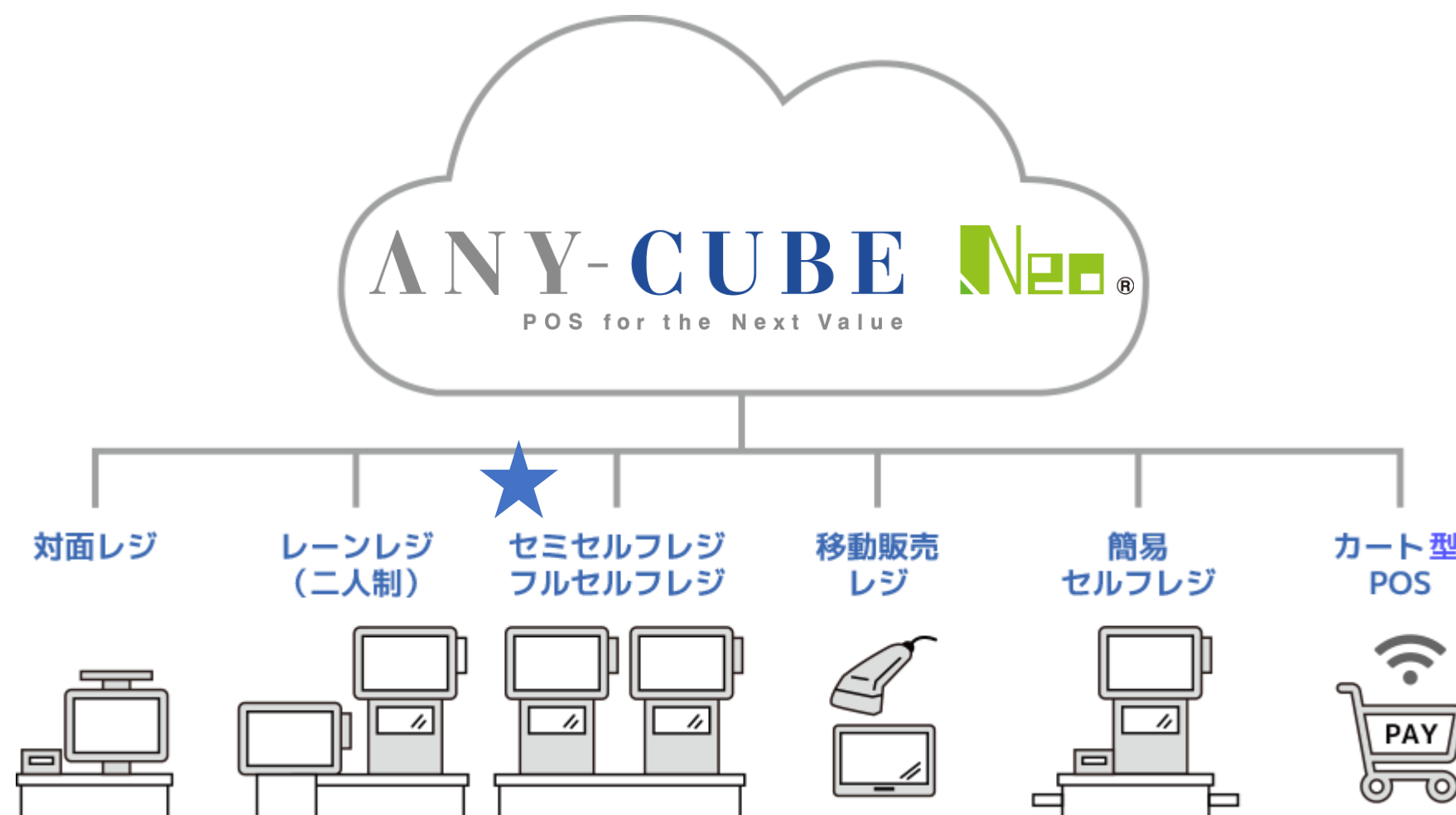
スーパーマーケット様

マレーシア

POS
システム

リユースショップ様

POSレジの多様化とANY-CUBE採用の拡大



様々なハードへの柔軟性 + 様々な決済方法への柔軟性

マルチ決済を実現するプラットフォーム

SoftWare CAT シリーズ



キャッシュレス決済

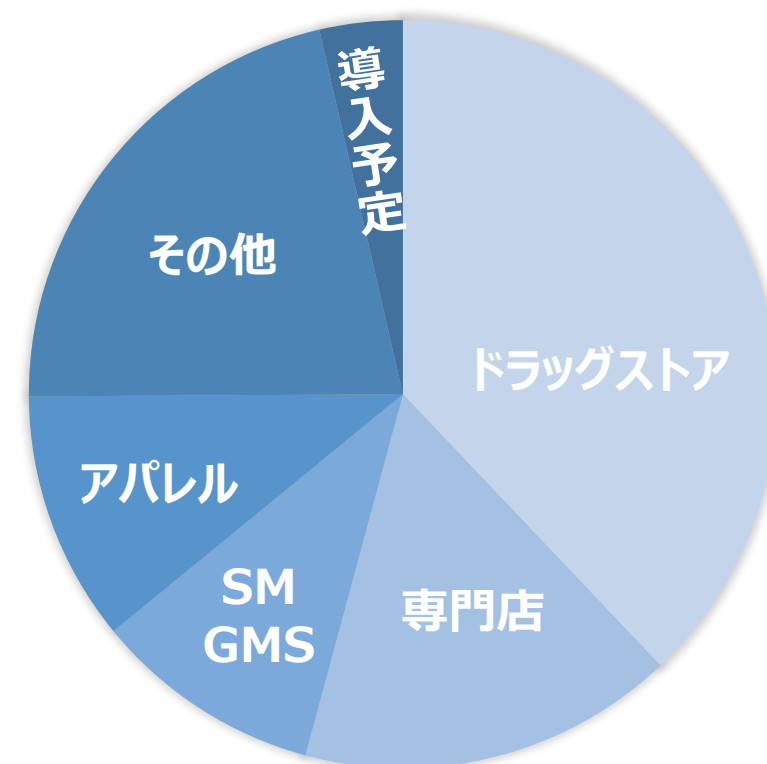


QRコード決済



ポイント利用

導入・導入予定台数



累計 **163,000** 台

★ 導入が拡大している分野

小売業の業務の自動化・省力化

商品部

- 商品マスタ登録・変更
- 販売実績集計・分析・計画
- 競合店情報調査等

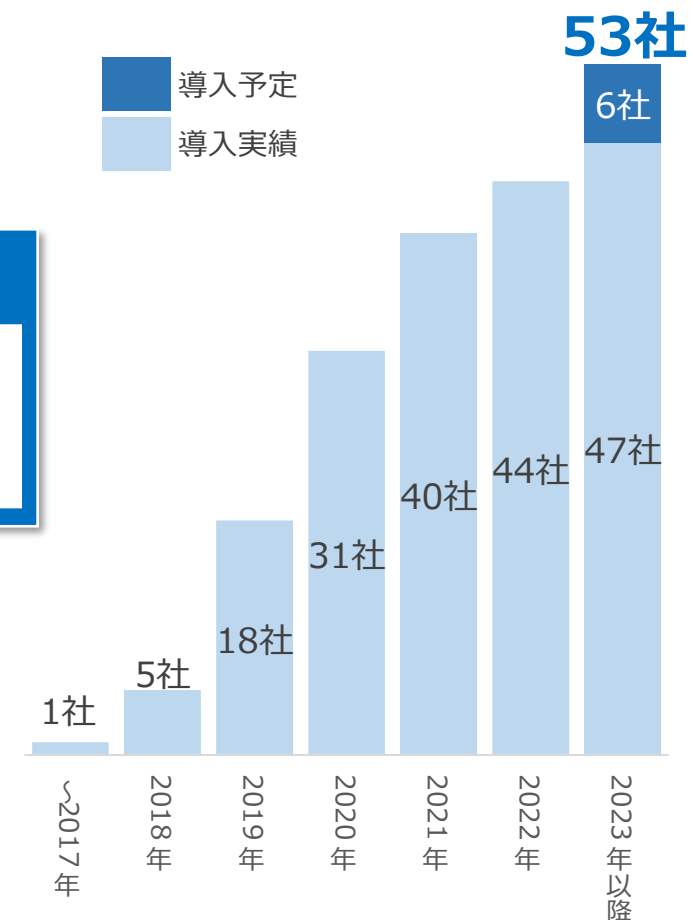
マーケティング

- 競合店価格情報収集
- 顧客情報管理
- SNSピックアップ検索等



RPA 導入社数

■ 導入予定
■ 導入実績



カスタマーサービス

- 顧客意見集約・周知
- 従業員接客態度調査報告
- 店舗向け情報配信等

営業

- 売上日報作成
- 勤務シフト作成支援
- 気象データ取得等

EC運営

- ECサイト受注データ取り込み
- ECサイト売上データ取得
- 在庫引当・欠品確認等

*『BizRobo!』はRPAテクノロジー株式会社
RPA製品であり、VINXは販売代理店パートナーとなります。

VINXの「A I 活用に関する取り組み」

機械学習を用いた需要予測をはじめ、音声認識や大規模言語モデルを利用したヘルプデスク提供、RPA・OCR連携による定型業務の自動化など、様々な領域でAI活用の取り組みを推進しております。

発注業務自動化

AI需要予測

Store

惣菜売場支援

AI需要予測
AIダイナミックプライシング

レジシフト提案

AI作業量予測

物流最適化

AI最適配送予測

ヘルプデスク

対話型AI・ChatGPT

Back office

紙業務効率化

AI OCR

定型作業自動化

RPA × AI

Logistics

Market

マーケティング

SENSY AI
(感性を解析するパーソナルAI)

2023年12月期 第2四半期 決算説明資料

- 決算概要

- 主なトピックス

- 【ご参考】B / SおよびC / F 等

分野別状況 売上高・営業利益



単位：百万円（百万円未満切捨て）、％

売上高	2023年上期		前年対比		
	実績値	売上構成	実績値	前年比	前年差
1.アウトソーシング分野	4,007	23.5%	4,336	92.4%	▲329
2.ソリューション分野	7,252	42.5%	6,217	116.6%	1,034
3.プロダクト分野	2,824	16.5%	1,994	141.6%	829
4.その他IT関連分野	2,987	17.5%	3,639	82.1%	▲651
合計	17,071	100.0%	16,188	105.5%	883

営業利益	2023年上期		前年対比		
	実績値	営業利益率	実績値	前年比	前年差
1.アウトソーシング分野	345	8.6%	377	91.4%	▲32
2.ソリューション分野	915	12.6%	752	121.6%	162
3.プロダクト分野	382	13.5%	327	116.8%	55
4.その他IT関連分野	128	4.3%	118	108.1%	9
合計	1,771	10.4%	1,576	112.4%	195

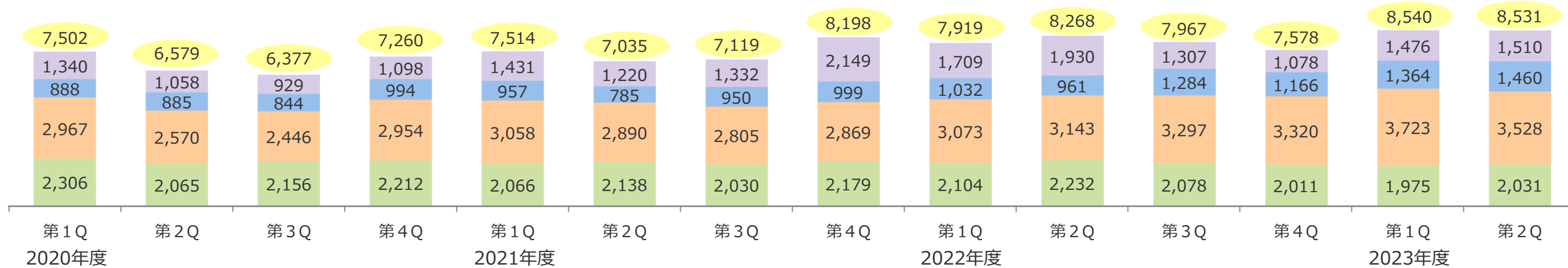
分野別状況 売上高・受注高・受注残高

VINX

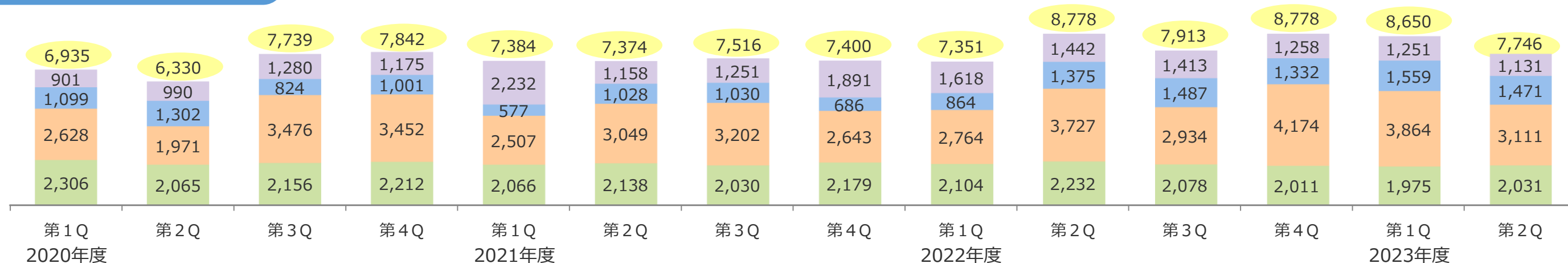
売上高推移

■ その他 I T 関連分野 ■ プロダクト分野 ■ ソリューション分野 ■ アウトソーシング分野

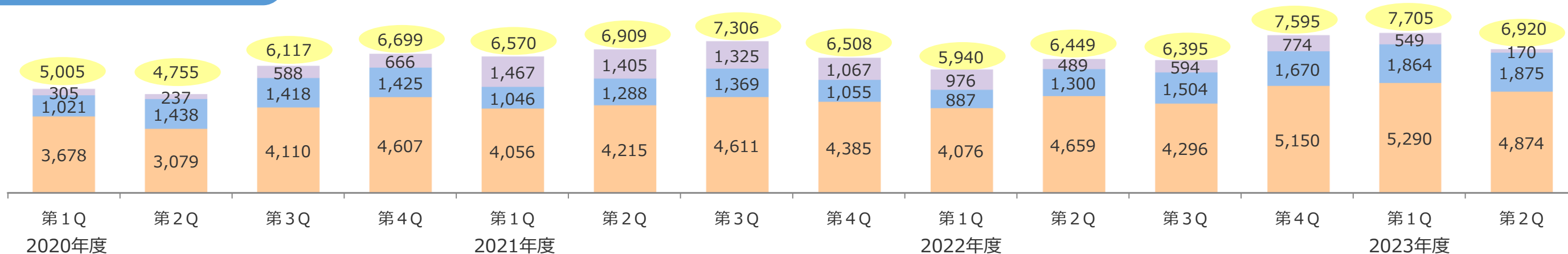
単位：百万円（百万円未満切捨て）



受注高推移



受注残高推移



※アウトソーシング分野は、受注生産型の事業形態ではないため期末受注残高の記載を省略しています。

貸借対照表

単位：百万円（百万円未満切捨て）、％

区分	2023年12月期 第2四半期末		2022年12月期 期末	
		構成比 (%)		差額
流動資産	17,422	80.9	16,385	1,036
固定資産	4,111	19.1	4,362	▲250
＜有形固定資産＞	781	3.6	831	▲49
＜無形固定資産＞	1,213	5.6	1,275	▲61
＜投資その他の資産＞	2,116	9.8	2,255	▲139
資産合計	21,533	100.0	20,748	785
流動負債	6,042	28.1	5,890	151
固定負債	1,634	7.6	1,853	▲218
負債合計	7,676	35.7	7,743	▲66
純資産	13,856	64.3	13,004	852
負債・純資産 合計	21,533	100.0	20,748	785

＜貸借対照表のポイント＞

主な増減要因は、以下の通りです。

- ・資産
 - 現金及び預金 2億 49百万円減少
 - 受取手形、売掛金及び契約資産 11億 69百万円増加
- ・負債
 - 未払金 1億 16百万円減少
 - 短期借入金 4億 27百万円増加
 - 1年内返済予定の長期借入金 1億 99百万円減少
 - 長期借入金 1億 65百万円減少
- ・純資産
 - 利益剰余金 6億 98百万円増加
 - 為替換算調整勘定 93百万円増加

キャッシュ・フローの状況



単位：百万円（百万円未満切捨て）

税金等調整前四半期純利益	1,724
減価償却費	240
その他	▲1,210
小計	753
利息、法人税等の支払額等	▲546
営業活動によるキャッシュ・フロー ①	207
有形固定資産の取得による支出	▲56
無形固定資産の取得による支出	▲146
定期預金の預入による支出	▲609
定期預金の払戻による収入	531
その他	2
投資活動によるキャッシュ・フロー ②	▲278
短期借入れによる収入	624
短期借入金の返済による支出	▲200
長期借入金の返済による支出	▲365
配当金の支払額	▲429
その他	20
財務活動によるキャッシュ・フロー ③	▲349
現金及び現金同等物に係る換算差額	75
現金及び現金同等物の増減額（▲は減少）	▲345
現金及び現金同等物の期首残高	8,172
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,826

<キャッシュ・フロー計算書のポイント>

第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は78億26百万円となりました。
詳細は以下の通りです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー
営業活動の結果、2億7百万円増加しました。

<主な要因>
・税金等調整前四半期純利益の計上

②投資活動によるキャッシュ・フロー
投資活動の結果、2億78百万円減少しました。

<主な要因>
・無形固定資産の取得
プロダクトソフトウェアの開発等
・定期預金の預入

③財務活動によるキャッシュ・フロー
財務活動の結果、3億49百万円減少しました。

<主な要因>
・短期借入金、長期借入金の返済
・配当金の支払

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。

正確性を期すために慎重に行っておりますが、正確性・完全性を保証するものではありません。

また、本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は当社の公表している将来見通しとは大きく異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社ヴィンクス
企画本部 経営企画部
連絡先：03-5637-7607